

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		030201 消防団の装備充実事業		担当部課	部課コード	030200	2998-9399	
事業コード		030201		総務部危機管理課				
開始年度		平成	27	年度	終了年度	平成	年度	
グループ		消防グループ						
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		
	分野別計画・指針	根拠法令						
	関連・類似事業	消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律・消防団の装備の基準の改正						
	総合計画の体系	章	安心・安全	節	危機管理・防災	基本方針	地域防災体制の強化	
事業開始の背景	平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、消防団の装備の基準の改正に伴い当事業を行うものである。これは、東日本大震災などを踏まえ、消防団活動が従来からの消火活動や予防・啓発活動にとどまらず、大規模災害における救助活動や避難誘導などにも広がりを見せ、消防団の装備の更なる充実・改善が求められたからである。							
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)							
	消防団活動が多様化する災害及び大規模災害にも対応できるように、装備の充実を図るものである。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度		平成 27 年度		
事業の具体的な内容及び実施方法	以下の装備を複数年にわたり順次配備するものである。 ・団員の安全確保のための装備(防塵メガネ、防塵マスク、耐切削性手袋、防火衣一式) ・救助活動用資機材(エンジンカッター、可搬ウインチ、油圧救助器具、AED) ・団員間の情報伝達が可能な装備(トランシーバー、デジタル無線機)							
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額				3,706	3,219		
	決算(見込み含む)				2,724			
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	人	0	0.32 人	2,771			
	事業費合計			0	5,495			
	財源内訳	一般財源	0		5,495	3,219		
国・県支出金								
その他()								
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標	
	活動実績	安全確保のための装備数	防塵メガネ325、防塵マスク325、耐切削性手袋325、防火衣85	個		975	1,000	1,060
	救助活動用資機材数	エンジンカッター10、可搬ウインチ10、油圧救助器具10、AED10	機		0	0	40	
団員間の情報伝達が可能な装備	トランシーバー60、デジタル無線機15	機		40	60	75		
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標	
	成果指標	消防団の装備の基準上の装備	防塵メガネ325、防塵マスク325、耐切削性手袋325、防火衣85、エンジンカッター10、可搬ウインチ10、油圧救助器具10、AED、10トランシーバー60、デジタル無線機15	機	目標値	1,175	1,175	1,175
	実績				1,015	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	86	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
	初年度であるため、団員の生命、身体の保護に関わる安全確保のための装備について配備した。			必要装備に対する計上予算の財政上の理由。				
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	引き続き、多種多様化する災害及び大規模災害にも対応できるようにするための装備の充実を図る必要があるため。			
	次年度予算	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	財政上の理由から予算を均等化し、複数年かけ将来目標を達成させるため。				
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性				
	平成27年度に引き続き、団員の生命、身体の保護に関わる安全確保のための装備を優先し、配備していくものである。			安全確保のための装備の配備は継続し、大規模災害に備え、救助活動用資機材及び団員間の情報伝達が可能な装備(デジタル無線機)を順次配備していくものである。				
	評価日	H28.8.19	評価者職氏名	危機管理担当 須田 春男				
環境影響	有益な環境影響	5-2安心な都市空間の整備		有害な環境影響を及ぼす原因活動	規制を受ける環境法令等		緊急事態	